

## 「ユマニテ」紙の小林多喜二追悼記事

高橋 純

小林多喜二が1933年2月20日に虐殺された後、この痛ましいニュースは世界を駆け巡り、ヨーロッパではフランス共産党の機関紙「ユマニテ」にその追悼記事が書かれたことはつとに知られていた。例えば、「多喜二の死の直後、1933年の新聞『ユマニテ』（フランス共産党機関誌）で、*Pour son action contre la guerre!* の標題の追悼文が出た。彼は国際的にも有名であった」（倉田稔『小林多喜二伝』論創社、2003、p.887）というように認識されていた。だが、この新聞記事の存在は疑われはしなかったものの、その所在が正確に突き止められてはいなかったようである。

このたびその追悼記事が発見された。「ユマニテ」紙1933年3月14日版第3面であり、多喜二の死後約3週間が過ぎていた。プロレタリア文学作家小林多喜二の業績の紹介とその死の経緯を報告するもので、情報は正確であるといつてよいだろう。唯一不正確な点があるとすれば、逮捕から1時間後に多喜二は警察署で死体となっていたとするとところであろう。実際には数時間が経過していたようであり、身柄が留置所に戻された時点ではまだ絶命してはいなかった。ただしこれは不正確であったというよりも、拷問のすさまじさが伝えられたことから生じたいわば自然な誇張とでも言えるのではないか。実は多喜二の名はこの「ユマニテ」紙にもう一度登場する。それは同年5月25日版第3面であり、ここでは日本帝国主義がコミニストや反戦活動家を迫害し攻撃し殺害する犯罪行為を報じているのだが、その報道の中で多喜二は街頭で30名の警官によって逮捕され殺害されたとされている。確かにこれは誤りではあるが、このこともまた多喜二殺害の一件の惨たらしさの印象が強烈であればこそ、3人の警察官が張り込んでいたとされた事実が10倍の人数に膨れ上がってしまったのであろうと思われるのである。

多喜二の文学と思想を理解し、その歴史的意義を見極めようとする際にこの記事が重要なのは、その中にロマン・ロランの名が見られる点である。そのくだりは以下のように記されている。

小林多喜二が東京で殺害された！…

この犯罪の噂はわずか数日前にフランスにも伝わってきていた。

このニュースはA.E.A.R.（革命的作家芸術家協会）の猛烈な非難を呼び、ロマン・ロランの呼びかけに応じてこの犯罪に対する無数の抗議の声が湧き起こったのだった。

いまやこのニュースは確認された事実である！

多喜二の死が2月20日であり、この新聞記事が3月14日のものであるとすると、「この犯罪の噂はわずか数日前にフランスにも伝わってきていた」のであるから、このニュースがフランスに伝わったのは「直後」とはいえないようである。他方、「ロマン・ロランの呼びかけに応じてこの犯罪に対する無数の抗議の声が湧き起こった」のは、多喜二の死の事実が伝わってからこの新聞記事が出るまでの間であると考えるのが妥当であろうが、そうするとその間の時間的隔たりが短すぎるようにも思える。この間の事情は正確厳密に跡付ける必要がある。それがなぜ必要である

かを示すのが、この記事に現れたロマン・ロランの名前の存在である。

ロマン・ロランと小林多喜二のつながりを明かす証言はこれまでに複数存在している。例えば、「赤旗」1974年2月20日付に、彫刻家高田博厚へのインタビュー記事があり、そこで片山敏彦と相談し、日本から届いた多喜二虐殺を伝える「赤旗(せっき)」を翻訳し、ロマン・ロランにそのフランス語訳を渡したことが語られている。また、手塚英孝氏は『写真集 小林多喜二』(新日本出版社)で、ロマン・ロランの多喜二追悼文があるということに触れているが、評伝『小林多喜二』、『小林多喜二全集』所収の「年譜」ではこのことはまったく言及されていない。

このように、ロマン・ロランと小林多喜二のつながりという半ば伝説と化した逸話の真偽は研究者ならずとも気になるところであり、火のないところに煙は立たぬと言うように、こうした伝説の背後に隠された真実をありのままに明らかにすることができたならば、それはロマン・ロラン研究にとってのみならず、小林多喜二研究にとっても無論のこと大きな意味を持つはずである。

真相の究明については、フランス国立図書館所蔵のロマン・ロランの未刊行の手稿、書簡等の閲覧・精査を含む今後の調査・研究に俟たなければならないが、とりあえず、その最初の足がかりとなる「ユマニテ」紙の記事2点をここに紹介させていただく次第である。

\*\*\*\*\*

#### L'Humanité, 1933 /03/14

**Pour son action contre la guerre !**

### **Kobayaschi, écrivain révolutionnaire assassiné à Tokio par l'impérialisme nippon**

Takiji Kobayaschi vient d'être assassiné à Tokio !...

Les premiers échos de ce crime sont parvenus en France il y a peu de jours encore.

La nouvelle a provoqué — on s'en souvient — une vigoureuse réaction des A.E.A.R. et à l'appel de Romain Rolland de nombreuses protestations s'élevèrent contre ce crime.

Aujourd'hui, la nouvelle est confirmée !

Kobayaschi !... Son nom avait fait le tour du monde.

Il était connu et aimé de tous ceux qui suivent avec ardeur la lutte contre la guerre impérialiste.

Kobayaschi était un jeune. Né en 1933 dans un petit village du nord du Japon, il se pencha très tôt sur les problèmes sociaux et bientôt milita à l'avant-garde des intellectuels et du prolétariat révolutionnaires.

Il collabora à la presse communiste et dans Senki, il fit paraître successivement ses meilleures œuvres : « 15 mars 1928 » évocation des luttes du Parti japonais, puis « Le bateau de pêche » et « Propriétaire absent », histoire d'une grève paysanne. Il publiait par la suite d'autres ouvrages ; tous consacrés aux luttes de la classe ouvrière et de notre vaillant P.C. Il était membre du Comité Central des Ecrivains Révolutionnaires.

## Assassiné par la police

Au cours des derniers mois, il s'était résolument placé à la tête de l'action contre les guerres de rapine et de contre révolution en Extrême-Orient.

Son action révolutionnaire inlassable avait alarmé l'impérialisme nippon.

Notre camarade, bravant les menaces et intimidations, demeurait à son poste.

Le 20 février dernier, Kobayaschi était arrêté pour « action antimilitariste ».

Une heure après, on relevait son cadavre au commissariat de police !... Kobayaschi venait d'être assassiné !

Le prolétariat international se dresse contre ce nouveau crime de l'impérialisme japonais, qui n'a fait que galvaniser la volonté de lutte des masses nippones.

### 「ユマニテ」紙1933年3月14日第3面

その反戦活動のゆえに！ (Pour son action contre la guerre !)

革命作家小林 (KOBAYASCHI) 日本軍国主義の手により東京にて殺害さる

小林多喜二が東京で殺害された！…

この犯罪の噂はわずか数日前にフランスにも伝わってきていた。

このニュースはA.E.A.R. (革命的作家芸術家協会) の猛烈な非難を呼び、ロマン・ロランの呼びかけに応じてこの犯罪に対する無数の抗議の声が高き起こったのだった。

いまやこのニュースは確認された事実である！

小林！… その名は世界を駆け巡った！

帝国主義戦争への反対闘争を熱烈に支持するすべての者から彼は認められ、愛されていた。

小林は若かった。1903年に北日本の小村に生まれ、非常に若くして社会問題に関心を寄せ、ほどなくして革命的知識人および労働者の前衛として戦うようになった。

彼は共産党機関誌と協働し、「戦旗」には、日本共産党の闘争を描いた『1928年3月15日』、次いで『蟹工船』や、農民ストを語る『不在地主』といった傑作をつぎつぎに発表したのだった。彼は続いて他の作品も発表した。そのいずれもが労働者階級とわれらが共産党の闘争にささげられたものだった。彼は革命的作家中央委員会メンバーであった。

### 警察の手で殺害

過去数ヶ月間に彼は決然として、極東における帝国主義的略奪戦争および反革命戦争に抗する運動の先頭に立ち続けていたのだった。

彼の不屈の革命的活動は日本帝国主義の脅威となっていた。

われらが同志は威嚇にも脅迫にもひるむことなく、その立ち位置を変えることはなかった。

去る2月20日、小林は「反軍国主義活動」の廉で逮捕された。

その1時間後、彼は警察署で死体となっていた！小林は殺されたのだ！

全世界のプロレタリアは日本軍国主義のこの新たなる犯罪に対して結束して立ち上がる。この犯罪は、日本の人民大衆の戦いの意志を掻き立てずにはいないのである。

\*\*\*\*\*

L'Humanité, 1933 / 05 / 25

## **Les impérialistes de Tokio font assassiner les révolutionnaires luttant héroïquement contre la guerre**

### **LE P.C. JAPONAIS APPELE LES TRAVAILLEURS DU MONDE A L'AIDE**

L'impérialisme japonais poursuit ses conquêtes en Chine. Des monceaux de cadavres et de ruines ont été accumulés en Mandchourie, dans le Jehole, dans la Chine du nord.

La monarchie bourgeoise et féodale du Japon est contrainte, pour mener sa guerre exigée par les trusts tout-puissants du jeune impérialisme nippon étouffé dans ses îles par la crise, à un régime de terreur abominable contre le mouvement révolutionnaire antiguerrier qui pénètre dans toutes les couches de la population travailleuse et jusque dans les classes bourgeoises.

Nous recevons le journal clandestin du vaillant Parti communiste japonais : le Drapeau rouge qui lance un appel enthousiaste et poignant pour le soutien de la lutte contre la guerre et contre le fascisme nippon.

### **Crimes effroyables**

La terreur blanche au Japon, exacerbée par les succès du P.C. et des J.C. parmi les masses, par les grèves, par les mouvements paysans, par le travail de désagrégation des communistes dans l'armée, est arrivée jusqu'au point OU LA POLICE ASSASSINE IMMEDIATEMENT LES COMMUNISTES ARRETES.

L'Humanité a déjà signalé les nombreuses morts de militants survenues dans les prisons à la suite de tortures, les procès monstres englobant jusqu'à 200 communistes, ouvriers, paysans, étudiants, professeurs, etc.

L'année dernière 1.400 ouvriers révolutionnaires ont été arrêtés pour leur action contre la guerre et pour l'organisation des travailleurs pour la révolution. Deux militants du P.C., Nêda et Iwata, ont été froidement assassinés.

Dès les premiers mois de cette année, 400 ouvriers ont été arrêtés à Nagoya. Des centaines de révolutionnaires ont été emprisonnés à Kyushu (sud du Japon). A Nagano, nos camarades Ito et Kawasaki ont été assassinés.

En février, 300 intellectuels ont été emprisonnés sous l'inculpation de sympathie pour

le communisme. Presque tous sont des professeurs, écrivains, artistes. Parmi eux, Kakiji (Takiji) Kobayashi, le grand romancier prolétarien, a été assassiné. Il a été arrêté dans la rue par 30 policiers et TORTURE JUSQU'A LA MORT.

### **Soutenons nos frères nippons !**

Mais, comme le proclamait en juillet dernier, au procès de Tokio à un groupe de 184 membres du P.C. et J.C., notre camarade Hako Sanou [Gaku Sano], les assassins fascistes du Japon ne peuvent pas parvenir à briser le Parti communiste, son action efficace qui entraîne des masses toujours plus larges dans la lutte contre la guerre de rapines en Chine et contre les projets d'agression antisoviétique.

Le combat continue, jusqu'à la victoire, avec le soutien du prolétariat international, pour le renversement de la monarchie, pour la transformation de la guerre impériale en guerre civile, pour la révolution populaire, pour le riz, pour la terre, pour la liberté, pour le Japon soviétique.

Le Parti communiste japonais fait appel au travailleurs du monde contre le régime fasciste militaire qui ensanglante la Chine et le Japon de ses crimes impérialistes et policiers.

Pour soutenir l'action révolutionnaire de masse des communistes japonais contre la guerre et le fascisme, accentuons la lutte contre notre propre impérialisme, empêchons que les impérialistes français soutiennent, sous quelque forme que ce soit, les bandits japonais, arrêtons tout transport d'armes et de munitions à destination du Japon. Oeuvrons efficacement par l'action et par des ordres du jour votés dans les assemblées ouvrières, pour le soutien des révolutionnaires japonais, nos frères, pour la défense de la Chine et de l'Union soviétique !

— M.M

### 「ユマニテ」紙、1933年5月25日、第3面

#### **東京の帝国主義者、英雄的に反戦活動を遂行する革命家を次々に殺害**

日本共産党は全世界の労働者に支援を訴える

日本帝国主義が中国の攻略を続けている。ために満州、承德、中国北部には、死体が折り重なり、廃墟の瓦礫が山をなしている。

日本の封建的ブルジョワ君主政体[天皇制]は、経済危機のため国内的に行き詰った後発日本帝国主義のトラストの力に押され、労働者のあらゆる階層のみならずブルジョワ階級の中にまで浸透した革命的反戦運動を前にして、唾棄すべきテロをもって対せざるをえなくなっている。

われわれは勇敢なる日本共産党の非合法機関誌「赤旗」を入手した。そこにわれわれは、反戦

および反日本ファシズムの闘争支援を訴える熱烈かつ悲痛な呼びかけを聞くのである。

### おぞましき犯罪

日本の白色テロは、日本共産党や日本共産青年同盟の大衆的成功、ストライキ、農民運動、軍隊内部のコミュニストによる分裂活動を恐れるあまり、いまや、官憲が捕らえたコミュニストを即座に殺してしまうまでに至っている。

「ユマニテ」は、獄中での拷問により落命したあまたの闘士の死と、200名に及ぶコミュニスト、労働者、農民、学生、教師等々を訴追する非道の裁判についてはすでに報じたところである。

昨年は1400名の革命的労働者が、反戦活動および労働者の革命オルグの廉で逮捕された。共産党の二人の闘士、根田と岩田が冷酷に殺害された。

本年早々名古屋では400名の労働者が逮捕された。九州（日本南部）では数百名の革命家が投獄された。長野では、われらが同士、伊藤と川崎が殺害された。

2月には300名の知識人が共産主義への同調の廉で投獄された。その多くが教師、作家、芸術家である。その中であって、偉大なるプロレタリア作家小林多喜二が殺害された。彼は街頭で30人の警官に捕らえられ、拷問されて死んだのである。

### われらが日本の同士に支援の手を！

しかしながら、昨年7月の東京での、184名の共産党員と日本共産青年同盟員に対する裁判において、われらが同士佐野学が断固主張したごとく、ファシスト日本の人殺し連中に共産党を粉砕することはかなわず、また、帝国主義的略奪戦争と反ソ的攻撃策動に抗する戦いにより一層広範な大衆を巻き込んでゆくその有効な活動を阻止することもかなわないのである。

戦いは続く、勝利のときまで、全世界のプロレタリアの支援を得て、君主政体[天皇制]解体に向けて、帝国主義戦争から内乱への転換に向けて、人民革命に向けて、米のために、大地のために、自由のために、ソヴィエト日本に向けて。

日本共産党は、帝国主義と警察権力の犯罪によって中国と日本を血に染める軍事ファシスト体制に抗すべく世界の労働者に訴えている。

戦争とファシズムに抗する日本コミュニスト大衆の革命的行動を支援すべく、われら自身の帝国主義との戦いを強化しようではないか、フランス帝国主義者によるいかなるかたちでの日本の略奪者支援をも阻止しようではないか、日本向けのすべての武器弾薬の輸送を阻止しようではないか。実際行動により、労働者評議会の決議に従い、実効性ある活動に邁進し、われらが友たる日本の革命家を支援し、中国とソヴィエト連邦を防衛しようではないか！

— M.M.

LES COMMUNISTES DÉPÊCHES DE NOS ENVOYÉS SPÉCIAUX, DE NOS CORRESPONDANTS PARTICULIERS, ET DES AGENCES

Une conférence secrète A LOCARNO, DES FASCISTES HITLÉRIENS ET ITALIENS AVEC DEUX GARDES BLANCS ONT ENVISAGÉ UN PLAN D'INTERVENTION CONTRE L'U. R. S. S.

Moscou, 13 mars. — (Humanité). — L'agence londonienne J. T. E. communique une information caractéristique des tendances antisoviétiques des milieux d'extrême droite à Locarno... Une conférence secrète a eu lieu à Locarno, au cours de laquelle ont été envisagés un plan d'intervention contre l'U. R. S. S.

SOLIDARITÉ AVEC LES TRAVAILLEURS ALLEMANDS Des milliers d'ouvriers se prononcent pour la lutte contre le traité de Versailles

Le mouvement de protestation contre les crimes du fascisme allemand s'aggrave en France. Les comités d'assistance communistes ont organisé un mouvement de solidarité avec les travailleurs allemands... Des milliers d'ouvriers se prononcent pour la lutte contre le traité de Versailles.

Pour son action contre la guerre LE DEUXIÈME PLAN QUINQUENNAL KOBAYASHI ÉCRIVAIN RÉVOLUTIONNAIRE ASSASSINÉ A TOKIO PAR L'IMPÉRIALISME NIPPON

Tokio, 13 mars. — (Humanité). — Le premier des chefs de ce crime sont parvenus en France il y a peu de jours... Kobayashi, écrivain révolutionnaire, assassiné à Tokyo par l'impérialisme nippon.

Les succès de la production automobile en U. R. S. S.

Moscou, 13 mars. — (Humanité). — Les succès de la production automobile en U. R. S. S. sont remarquables... Les succès de la production automobile en U. R. S. S.

Les drames quotidiens RUE SAINT-ANTOINE UN MÉNAGE D'ARTISANS SE SUICIDE POUR CAUSE DE MISÈRE

Après les suicides de chômeurs, quotidiens, voici ceux de deux artisans... Rue Saint-Antoine, un ménage d'artistes se suicide pour cause de misère.

Un fratricide Bourges, 13 mars. — A la suite d'une discussion entre les frères Fernand, Paul et André, un fratricide a été commis.

Il tue sa femme et se suicide Bourges, 13 mars. — Un homme de 32 ans, sans travail, se suicide avec sa femme.

Commentait cette information, la Parole de l'U. R. S. S.

M. Rosenberg est le rédacteur en chef de l'organe central hitlérien, l'« Arbeiter-Kampfer », le rival de l'« Intervention antisoviétique »... Commentait cette information, la Parole de l'U. R. S. S.

Bagarres, arrestations, journaux occupés

Suite de la première page... Bagarres, arrestations, journaux occupés.

Les Japonais menacent Pékin mais l'activité des partisans reprend en Mandchourie

Des combats acharnés continuent à se dérouler en Mandchourie... Les Japonais menacent Pékin mais l'activité des partisans reprend en Mandchourie.

Nouveau coup de force du gouvernement autrichien

Vienne, 13 mars. — (Humanité). — Le gouvernement autrichien vient de prendre des mesures pour empêcher le développement de la production industrielle... Nouveau coup de force du gouvernement autrichien.

Un riciste allemand assassiné son frère

Berlin, 13 mars. — Un crime familier a été commis à Berlin... Un riciste allemand assassiné son frère.

LA CONFÉRENCE OCT PATRIOTIQUE LAZARINE Paul-Boncour oppose un refus brutal à l'ultime plan Mac Donald

MacDonald s'est précipité à Genève pour tenter de sauver la face... Paul-Boncour oppose un refus brutal à l'ultime plan Mac Donald.

Arrestations et perquisitions en masse

Berlin, 13 mars. — (Humanité). — Dans les dernières 24 heures, quarante arrestations ont été opérées à Berlin... Arrestations et perquisitions en masse.

LES BEAUTÉS DU SPORT BOURGEOIS

Barlament qui se met à l'œuvre... Les beautés du sport bourgeois.

AUJOURD'HUI, PREMIÈRE ÉTAPE DE PARIS-NICE

La reprise officielle du cyclisme... Aujourd'hui, première étape de Paris-Nice.

Le 23 mars, réouverture cycliste à la Cipale

Le 23 mars, réouverture cycliste à la Cipale.

Les élections communales dans le Grand-Berlin

Berlin, 13 mars. — (Humanité). — Hier dimanche ont eu lieu les élections communales dans le Grand-Berlin.

Les élections communales dans le Grand-Berlin

Berlin, 13 mars. — (Humanité). — Hier dimanche ont eu lieu les élections communales dans le Grand-Berlin.

Les élections communales dans le Grand-Berlin

Berlin, 13 mars. — (Humanité). — Hier dimanche ont eu lieu les élections communales dans le Grand-Berlin.

ÉPREUVES DE LA F. S. T.

GRAND-COUNTRY

DANS LES COMMISSIONS

CAMPING

